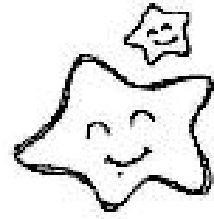


QSK にぬふあぶし

No.336

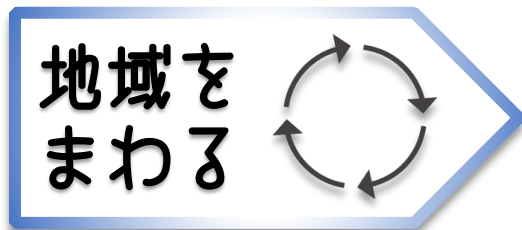
ね
子の方向の星(北極星)



恒例の新春餅つき会がありました!

1月7日(火)、今年も新春餅つき会をてるしのワークセンターで行ないました。始まる前から楽しみすぎてソワソワしている方、餅は嫌いだ!という方など様々な反応あり。関係機関からの参加もあって、新年らしく賑やかに盛り上がりました。ちなみにこの日はムーチー(鬼餅)の日でもありました。いよいよ沖縄でも冷え込みの厳しくなる季節、一年の健康祈願にもなったと思います。2025年もみなさんが元気で幸せに暮らせますように!





【 Cafe Luana (カフェルアナ) 】

営業時間：11時～15時半 (定休：日、木)
場所：豊見城市真玉橋182-1F
連絡：098-850-3768

カフェルアナは、いわゆるコミュニティカフェである。つまり、「飲食の提供だけでなく、地域の人たちが集まり、交流を行なえる場としての役割を果たしているカフェ」で、あかみねむつお赤嶺睦夫さんという人が経営している。

ムツオ、ムツオとてるしのも前々からよく名前を聞いていたが、ムツオさんが何者かについては長いこと詳しくわからなかった。だいたい困ったことがあるとムツオさんの名前が挙がってくる。「ムツオさんが知ってるんじゃないかな?」、「エー、ムツオに聞いてみたらいいさ」。そんな具合だったが、ムツオさんがなんなのかについては、人から歯切れのいい答えを聞いたことがない。

どうも精神保健福祉士と社会福祉士の資格を持っていて、顔が広く、若者支援の仕事をよくしている人物である。ルアナが、そのムツオさんのやっているお店ということもなんとなく聞いてはいたが、ぼくが初めて足を運んだきっかけには、『駄菓子家ぱーらー』の根川さん(本紙328号参照)がいた。2022年の年の瀬、根川さんの関わる格闘ゲーム大会があると聞きつけ、喜び勇んで参加したそのイベント会場がルアナだった。(障がいの有無も、利用者やら支援者やらの立場も関係なし、お互いがちでやり合うというコンセプトに賛同して、ぼくもマイコントローラ持参で気合いを入れて挑んだものの、わりとすぐボコボコにされて敗退した)

どうも精神保健福祉士と社会福祉士の資格を持っていて、顔が広く、若者支援の仕事をよくしている人物である。ルアナが、そのムツオさんのやっているお店ということもなんとなく聞いてはいたが、ぼくが初めて足を運んだきっかけには、『駄菓子家ぱーらー』の根川さん(本紙328号参照)がいた。2022年の年の瀬、根川さんの関わる格闘ゲーム大会があると聞きつけ、喜び勇んで参加したそのイベント会場がルアナだった。(障がいの有無も、利用者やら支援者やらの立場も関係なし、お互いがちでやり合うというコンセプトに賛同して、ぼくもマイコントローラ持参で気合いを入れて挑んだものの、わりとすぐボコボコにされて敗退した)

そういうふうには、いろんな人たちがいつの間にか巻き込まれてルアナに顔を出すようになっている。人が人を呼び、友だちがまた友だちを連れてくる。芋づる式だ。

上のゲーム大会はいわゆるEスポーツだったが、他にもボードゲームを楽しむ集まりがあったり、サンレレ(三線+ウクレレの楽器)のサークルがあったりする。単発の企画では、国際交流の料理教室や、映画の上映会や、手話講座がある。公認心理士試験の勉強会から始まったというゆんたく会は、火曜の夜にいまも続いている。



「ルアナ」には、ハワイの言葉で「リラックス」とか「エンジョイ」の意味がある。実はムツオさんは海外留学でハワイに暮らしていた経験を持っている。そんなつながりからの命名だ。その頃は国際関係学を学んでいた。ハワイのほか、カリフォルニアで大学にも通っていた。かっこいい！ 国連などが取り組んでいるような国際的な問題に興味があった。

ところで、いざカフェを開いてみると、もっと身近なところに問題が発覚した。

お店をやってみてわかったことに、ムツオさんは来店客からお金をもらうことが心底苦手だったのだ。お金をもらわないとやっていけないのだが、「もらっていいの?」と思ってしまう。うん! もらえないよ。さらにムツオさんは、本人いわく強度の人見知りでもあった。人と会うこと、話すことは大好きなのに、相手の迷惑にならないか、邪魔にならないかとかを考え始めると話しかけられなくなってしまう。あとたとえば飲み会なども呼ばれると嬉しいのに、その日が近づくにつれ気持ちがしんどくなってくる。自分一人でお客を迎えることも正直、得意じゃない。お客の顔や名前が覚えられない。どうして覚えられないのか考えてみると、どうも緊張しすぎてしまっているようだ。顔を覚えられないので声のかけ方にも悩んで逃げ出したくなる。

そういう自分の性格を理解して、だからお店はもう人に任せることにした。



ベーグルグラタン。他にも美味しいメニューいろいろ

よくしたことに、人が人を紹介してくれて、「飲食の提供」部分も最近は上手くまわり始めている。ムツオさんは学校で不登校生徒の支援などもしているのだけれど、ルアナでそんな子どもたちの職場実習などを受け入れるうち、実習後にアルバイトを志望する子まで現れるようになった。しゃべるのが得意じゃない子がボードゲームを通して当たり前のように声を出していた。こういうことが最高に嬉しい。

ルアナには「きっかけを見つける場所」というコンセプトがある。ムツオさん自身も人見知りなのだが、「人と出会う楽しさ」を知ることのできる場所を作りたいと思っている。というか、自分に生きづらさがあるからこそ、人のそういう傷つきやすい部分もよく見えるのかも知れない。それで、もしかすると、お客も実はそんな人ばかり集まっているかも知れない。ぼくも人見知りのコミュ障なので、そんな気がする(ゲーム大会も1回行ったきりだ)。

さて、取材で聞いたことの半分も書かないうちに紙幅が尽きてしまった。あとどうしても言っておきたいのは、もちもちの手づくりベーグル最高ってことです。(増山)

私宅監置跡地の視察案内を行なっています

12月20日(金)は、九州ブロック精神保健委員会の弁護士のみなさんが来沖し、沖縄に残る「私宅監置」跡地の視察見学を行ないました。沖福連の山田会長や、「うるま市心の健康を守る結の会」兼城会長らが現地を案内し、兼城会長は中学生の頃に近所で私宅監置されていた方とやりとりをした経験などをお話しました。

精神保健委員会は、精神障害者の人権を守る弁護士活動のひとつで、精神科に入院されている方の法律相談や援助活動等の取り組みを行なっています。



【寄付金／賛助会員加入のお願い】

沖福連の活動は、みなさまからの賛助会費やご寄付によって支えられています。今後とも、あたたかいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会年会費 個人1口：2千円 / 団体・法人1口：1万円

琉球銀行：南風原支店 普通口座 229887

ゆうちょ：02020-0-37037 (加入者名：公益社団法人沖縄県精神保健福祉会)

◎編集後記◎

沖縄の冬は混沌としている。てるしのでは、半袖Tシャツ1枚の人と、きのう雪山から越してきたような格好の人が一緒にいる。上は首元までモコモコなのに裸足に島ぞうりの人がいる。気温16℃の日には山田会長が「体感では北海道の5℃より寒い！」と言い張って吠えている。

他人の服装がどうだとか温度計の数字がどうだとか、そんなことは重要じゃない。それぞれが己の持っている身体感覚を働かせている。生きる力がみなぎっている。「レシピがあると人間という生き物は感覚所与(五感)を使わなくなる」とは料理人・土井善晴氏の言葉だ。レシピもマニュアルも捨てちまえ。夏のさかりに焼き芋食うぜ。(増山)

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会

会長 山田 圭吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平206-1

電話098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0068

福岡市東区社領1丁目12番4号

電話092-753-9722 FAX092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)